2027年3月期
第2四半期
決算説明資料

東証スタンダード｜ 3437











特殊電極株式会社

2026年11月12日

特殊電極株式会社
TOKUDEN CO., LTD.

目次

01 会社概要

02 事業内容

03 2027年3月期　第2四半期決算概要

04 通期業績予想、配当について

05 2026年度上期の当社トピックス

会社概要

商　　号	特殊電極株式会社 （英語表記：TOKUDEN CO., LTD.）
資 本 金	484,812,500円（2026年9月30日現在）
代 表 者	代表取締役社長　西川 誉
設　　立	創業1933年（昭和8年）2月 設立1950年（昭和25年）1月26日
所 在 地	〒675-0104 兵庫県加古川市平岡町土山899番5
代表電話番号	078-941-9421
従 業 員 数	257名（2026年3月31日現在）
事 業 内 容	特殊溶接工事の施工 特殊溶接材料・トッププレートの製造販売 各種溶接装置・各種産業用機械装置の製造販売



© 特殊電極株式会社

事業内容

当社グループは、溶接材料の開発力及び溶接総合技術を活かしたメーカーとして、溶接工事の施工、溶接材料、特殊溶接を施した鋼板、溶接装置、溶接手法及びその技術から派生した応用商品を営業品目として取扱っております。

溶接技術は、各業界における建造物、設備、装置、機械部品等の製作において不可欠な加工技術の一つでありますが、当社はその溶接分野におきましても特殊な溶接技術を専門に開発を進め、特に「表面改質技術」に属する肉盛溶接技術（機械部品等の表面に金属を盛り上げる溶接方法）並びにそれに用いる肉盛溶接材料を中心に事業を展開しております。

工事施工事業

基盤素材産業である製鉄、石油化学、セメントから自動車、食品産業といった身近な製造品まであらゆる業種の製造設備に関わる溶接を行っており、製造設備の使用限界を超えて摩耗した部分の再生手段として肉盛溶接という溶接技術をとっております。

売上構成比率
75.6%

溶接材料事業

工事施工事業において使用される特殊溶接用材料の仕入・製造・販売も手掛けております。当社の溶接材料を使用し肉盛溶接することにより、設備部品の延命対策ともなり、設備部品の新設時あるいは補修・再生時に使用されております。

売上構成比率
12.4%

環境関連装置事業

省エネや作業環境改善を目的とし、自動車関連の鋳造された粗材を冷却する強制冷却装置、鋳造機金型を電気ヒーターで加熱する金型加熱装置、自動搬送車（AGV）による搬送ライン装置等の製造・販売を行っております。

売上構成比率
6.4%

その他事業

上記工事施工、溶接材料、環境関連装置の他に、主に自動車産業向けに、アルミダイカストマシーン用部品（プランジャースリーブ、スプルブッシュ、プランジャーチップ、ラドル、ボアピン等）の仕入製造販売を行っております。

売上構成比率
5.6%

© 特殊電極株式会社

決算サマリー
（2027年3月期　第２四半期）

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の持ち直しを背景に、緩やかな回復が期待されました。

しかしながら、地政学リスクに伴うエネルギー価格の動向や金融資本市場の変動、相次ぐ自然災害の影響など、景気の下振れ要因も存在し、先行きにつきましては依然として不透明な状況で推移しました。

- このような状況の中にあって当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。
- 生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めるとともに品質の向上や作業の効率化を推し進めてまいりました。
- 研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品、新装置の開発並びに既存技術の向上に取り組みました。

売上高

55.37億円

前年同中間期比　+4.3%

溶接材料メーカーとして溶接材料の販売強化に努めるとともに、積極的な提案型営業による既存顧客への深堀により、受注拡大に努めました。

営業利益

4.20億円

前年同中間期比　39.6%

原価低減及び価格転嫁の進展により収益性が向上しました。

工事施工事業

売上高
41.84億円
前年同中間期比
+3.6%

溶接材料事業

売上高
6.86億円
前年同中間期比
+0.9%

環境関連装置事業

売上高
3.55億円
前年同中間期比
+52.9%

その他事業

売上高
3.11億円
前年同中間期比
△12.5%

© 特殊電極株式会社

損益計算書(P/L)

当社グループは、溶接材料メーカーとして溶接材料の販売強化に努めるとともに、積極的な提案型営業による既存顧客への深堀により、受注拡大に努めました。

当中間連結会計期間の売上高は5,537百万円(前年同中間期比4.3%増)となりました。また、損益面におきましては、営業利益は420百万円(同39.6%増)、経常利益は430百万円(同36.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は294百万円(同31.6%増)の増収増益となりました。

(百万円)	2026年3月期 第2四半期(中間期)	2027年3月期 第2四半期(中間期)	前期比率
売上高	5,309	5,537	4.3%
営業利益	301	420	39.6%
経常利益	314	430	36.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	223	294	31.6%

© 特殊電極株式会社

セグメント別売上高

工事施工事業

連続鋳造ロール肉盛工事の受注は減少しましたが、トッププレート工事の受注が増加したことにより、売上高は、前年同中間期比3.6%増の4,184百万円となりました。

溶接材料事業

製品の売上高は前年同中間期比0.4%増となりました。また、商品の売上高は前年同中間期比1.4%増となり、合計売上高は、前年同中間期比0.9 %増の686百万円となりました。

環境関連装置事業

自動車産業用試験装置・検査装置の受注は減少しましたが、自動車産業用粗材冷却装置の受注が増加したことにより、売上高は、前年同中間期比52.9%増の355百万円となりました。

その他事業

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注が減少したことにより、売上高は前年同中間期比12.5%減の311百万円となりました。

(百万円)	2026年3月期 第2四半期(中間期)		2027年3月期 第2四半期(中間期)		前期比率	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減	率(%)
工事施工事業	4,040	76.1	4,184	75.6	144	3.6
溶接材料事業	679	12.8	686	12.4	7	0.9
環境関連装置事業	232	4.4	355	6.4	123	52.9
その他事業	355	6.7	311	5.6	△44	△12.5
合計	5,309	100	5,537	100	228	4.3

© 特殊電極株式会社

キャッシュフロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益、契約資産の増加、仕入債務の減少、未払金の減少などの資金減少要因がありましたが、減価償却費の計上、売上債権の減少などがあり、1,251百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入、有形固定資産の取得などがあり、308百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額、配当金の支払などがあり、807百万円の支出となりました。

（百万円）	2026年3月期 第2四半期（中間期）	2027年3月期 第2四半期（中間期）
営業活動によるCF	205	1,251
投資活動によるCF	△224	△308
財務活動によるCF	△128	△807
現金及び現金同等物の期首残高	1,703	2,128
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,558	2,261

貸借対照表(B/S)

資産の効率的な活用と財務健全性の維持に努めました。

資産の部 (千円)	2026年3月期	2027年3月期 第2四半期(中間期)	増減額
流動資産	7,705,510	6,963,625	-741,885
現金及び預金	2,128,639	2,361,959	233,320
受取手形	72,286	―	―
電子記録債権	360,155	363,503	3,347
売掛金及び契約資産	3,634,934	2,697,393	-937,540
商品及び製品	1,071,981	1,044,084	-27,897
半成工事	180,702	160,848	-19,853
原材料及び貯蔵品	177,872	208,652	30,779
その他	79,288	127,355	48,066
貸倒引当金	△350	△171	178
固定資産	4,218,374	4,296,439	78,065
有形固定資産	3,529,793	3,553,674	23,880
建物及び建築物(純額)	1,897,455	1,852,013	-45,441
その他(純額)	1,632,338	1,701,660	69,322
無形固定資産	37,859	36,349	-1,510
投資その他の資産	650,720	706,415	55,694
資産合計	11,923,884	**11, 260, 065**	**-663,819**

負債・純資産の部 (千円)	2026年3月期	2027年3月期 第2四半期(中間期)	増減額
流動負債	2,741,288	1,835,198	-906,089
買掛金	652,330	610,356	-41,974
電子記録債務	302,547	233,413	-69,134
短期借入金	1,000,000	320,000	-680,000
1年内返済予定の長期借入金	100,200	100,200	0
未払法人税等	64,378	155,483	91,104
賞与引当金	266,623	201,804	-64,818
業績連動報酬引当金	6,626	11,148	4,522
工場損失引当金	7,108	3,799	-3,309
その他	341,473	198,993	-142,480
固定負債	1,277,120	1,242,028	-35,091
長期借入金	584,100	534,000	-50,100
退職給付に係る負債	658,556	673,861	15,305
その他	34,463	34,166	-297
負債合計	4,018,408	**3,077,227**	**-941,181**
株主資本	7,734,172	7,954,398	220,225
資本金	484,812	484,812	0
資本剰余金	395,251	396,941	1,690
利益剰余金	6,892,701	7,106,698	213,997
自己株式	△38,592	△34,054	4,538
その他の包括利益累計額	108,166	173,206	65,039
非支配株主持分	63,136	55,232	-7,903
純資産合計	7,905,475	**8,182,837**	**277,361**
負債純資産合計	11,923,884	**11,260,065**	**-663,819**

© 特殊電極株式会社

業績予想

- 2027年3月期の通期連結業績予想につきましては、工事施工事業及び環境関連装置事業において、売上高の計上が計画をやや上回るペースで進んだことに加え、原価低減及び価格転嫁の進展により収益性が向上したことから当初の予想を上回る見込みとなりました。このため通期連結業績予想を本日、上方修正いたしました。
- 修正後の売上高は、前期比3.0%増の11,245百万円を予想しております。また、修正後の利益につきましては、営業利益が前期比25.1%増の730百万円、経常利益が前期比24.6%増の749百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が前期比12.3%増の513百万円を見込んでおります。

（百万円）	2026年3月期（実績）	2027年3月期（予想）	前年比
売上高	10,915	11,245	3.0%
営業利益	583	730	25.1%
経常利益	601	749	24.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	457	513	12.3%

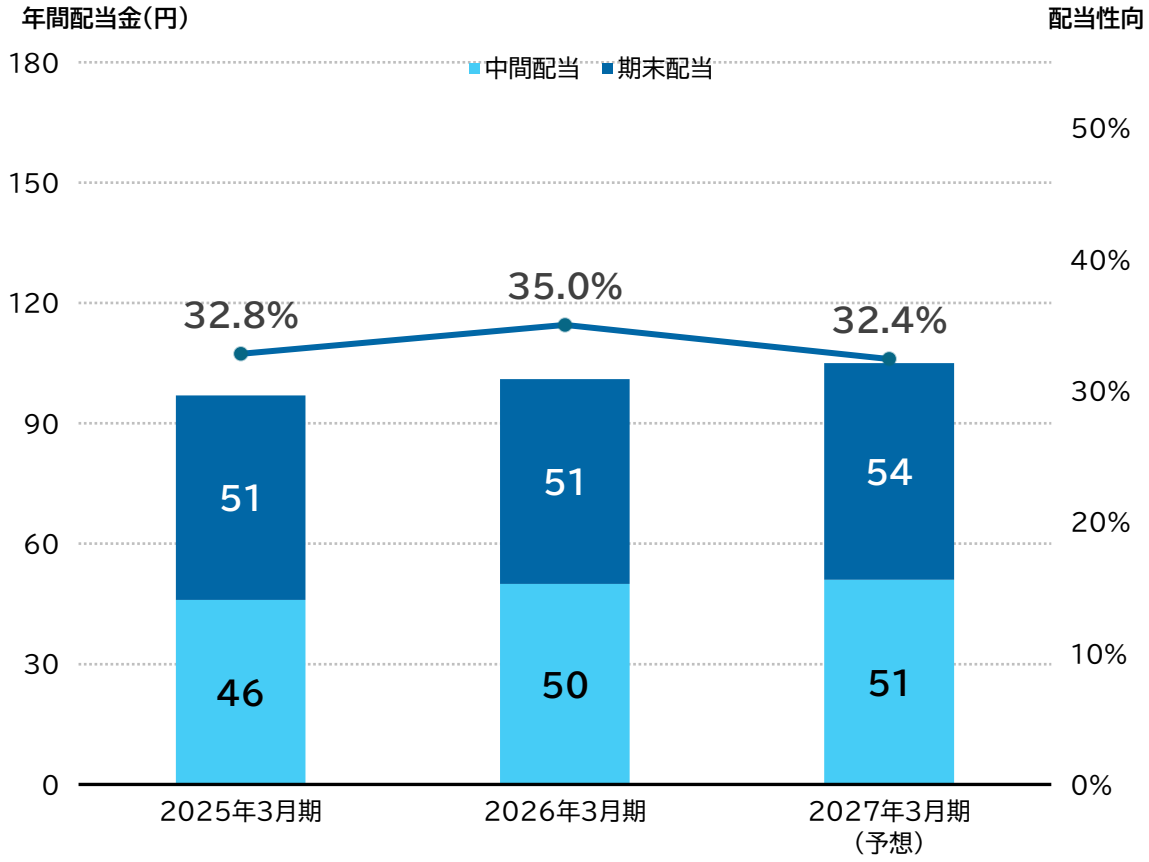
© 特殊電極株式会社

配当金の推移

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題の一つと考え、経営成績の状況、今後の事業展開等を勘案して、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としており、配当金額につきましては、DOE（連結株主資本配当率）2%を目処に配当を実施していくこととしております。

こうした方針のもと、2026年10月30日開催の取締役会において、1株当たり51円の配当を行うことを決議しております。

なお、期末配当金につきましては、本日公表しました2027年3月期の連結業績予想を踏まえ、前回予想の51円から、3円増配し、54円に予想を修正しております。これにより、年間配当予想額は、1株当たり105円（中間配当51円、期末配当54円）となります。



05−2026年上期の当社トピックス

インド子会社設立
販売店契約締結

当社グループは、インド市場における事業拡大を目的として、同国における販売体制の強化を図ることとし、インドのハリヤナ州に子会社を設立することを決議しております。インドでは今後も高い経済成長が見込まれており、溶接業界においては、既存設備の再生・延命や省エネルギー・高効率化に関する技術ニーズが一層高まっております。こうした市場環境を背景に、当社グループは、海外子会社を通じて、需要の著しく拡大するインド市場において、特殊溶接材料の販売及び溶接サービス事業を展開し、海外市場の獲得を目指してまいります。

また本年6月には、インドの技術商社であるAHDORA INDUSTRIES 社と当社が製造する溶接材料に関する販売店契約を締結してまいります。当社グループは、同社との連携を通じて、当社製品のインド市場における販路拡大を見込んでおります

名　　称	TOKUDEN INDIA PVT. LTD.
所 在 地	Office no-528,Puri 81 Business Hub, Sector-81,Faridabad,Haryana India
代表者の役職・氏名	Chairman 西川 誉
事 業 内 容	特殊溶接材料の販売及び溶接サービス事業
資 本 金	80,000,000インドルピー（約1億5千万円）
設 立 年 月 日	2026年9月15日
出 資 比 率	特殊電極株式会社 100%

TOKUDEN INDIA PVT. LTD.
×
AHDORA INDUSTRY PVT.LTD

・2026年6月　販売店契約の締結
・インドへの販路拡大

新製品・サービス

国内では、環境関連事業での新しい取扱い製品・サービスとして「TOKUDEN EyeSystem」の販売を開始いたします。

本製品は、省人化対策や現場の負担軽減を目的として開発された画像処理システムです。操作が簡単で汎用性が高く、さまざまな現場での活躍が期待できる製品となっております。

TOKUDEN Eye System　販売開始

・マルチOS対応
・高速画像判定
・作業者がその場で即登録できる現場第一の検査システム



検査イメージ

本資料の
取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

IRに関するお問い合わせ

特殊電極株式会社 総務部

TEL 078-941-9421
https://www.tokuden.co.jp

© 特殊電極株式会社